

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成28年11月14日
【四半期会計期間】	第71期第2四半期（自平成28年7月1日至平成28年9月30日）
【会社名】	イサム塗料株式会社
【英訳名】	Isamu Paint Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 古川 雅一
【本店の所在の場所】	大阪市福島区鷺洲2丁目15番24号
【電話番号】	(06) 6458 - 0036
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 佐藤 貢
【最寄りの連絡場所】	大阪市福島区鷺洲2丁目15番24号
【電話番号】	(06) 6453 - 4511
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 佐藤 貢
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第70期 第2四半期 連結累計期間	第71期 第2四半期 連結累計期間	第70期
会計期間	自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日	自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日	自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日
売上高 (千円)	4,064,496	4,006,184	8,110,743
経常利益 (千円)	371,200	493,974	890,308
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	237,223	335,746	569,695
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	193,284	312,346	523,369
純資産額 (千円)	13,019,376	13,563,227	13,301,270
総資産額 (千円)	16,587,641	16,727,425	16,914,728
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	24.86	35.19	59.71
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	76.5	79.1	76.7
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	209,375	275,915	633,283
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	775,815	103,595	790,038
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	98,457	348,333	177,771
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	1,724,184	1,878,542	2,054,555

回次	第70期 第2四半期 連結会計期間	第71期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日	自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	15.93	21.28

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善は進みましたが、世界情勢に対する不安や中国経済の減速懸念に加え、急激な円高・株安が進む一方で日銀によるマイナス金利政策が行なわれるなど、景気の先行き不透明感がより一層高まる状況下で推移しました。

このような環境のもと、当社グループは環境対応型塗料や高機能性塗料の充実により、自動車補修用塗料の販路拡大に向けた積極的な営業活動を展開するとともに、大型車両や工業用などの新規市場開拓や建築用塗料の受注増加に取り組みました。

しかしながら、厳しい市場環境により、当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、40億6百万円（前年同四半期比1.4%減少）となりました。また、利益面につきましては、営業利益は4億21百万円（前年同四半期比38.2%増加）、経常利益は4億94百万円（前年同四半期比33.1%増加）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億36百万円（前年同四半期比41.5%増加）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

塗料事業

売上高は39億55百万円（前年同四半期比1.5%減少）、営業利益は3億99百万円（前年同四半期比40.5%増加）であります。

その他

売上高は51百万円（前年同四半期比0.7%増加）、営業利益は22百万円（前年同四半期比6.7%増加）であります。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して、資産は1億87百万円減少、負債は4億49百万円の減少、純資産は2億62百万円増加しました。

資産の増加の主なものは、現金及び預金8億54百万円、有価証券3億円、減少の主なものは長期預金10億80百万円、投資有価証券1億48百万円であります。

負債の減少の主なものは、長期借入金2億41百万円であります。

また、純資産の増加の主な要因は、利益剰余金2億88百万円となっております。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1億76百万円減少し、18億79百万円(前年同四半期末17億24百万円)となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、2億76百万円（前年同四半期2億9百万円）となりました。

その主な要因は、増加した資金では税金等調整前四半期純利益4億95百万円、減少した資金では法人税等の支払額1億49百万円、仕入債務の減少1億22百万円などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は、1億4百万円（前年同四半期7億76百万円）となりました。

その主な要因は、増加した資金では定期預金の払戻2億50百万円、減少した資金では投資有価証券の取得2億1百万円、定期預金の預入2億円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は、3億48百万円（前年同四半期98百万円）となりました。

その主な要因は、長期借入金の返済2億93百万円などによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題については、重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、74百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	48,000,000
計	48,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成28年9月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成28年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	12,000,000	12,000,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 1,000株
計	12,000,000	12,000,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】
 該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】
 該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成28年7月1日～ 平成28年9月30日		12,000,000		1,290,400		1,209,925

(6) 【大株主の状況】

平成28年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
北村初美	大阪市福島区	2,216	18.46
北村健	大阪市福島区	2,211	18.42
イサム塗料栄勇会	大阪市福島区鷺洲2-15-24	1,177	9.81
第一生命保険株式会社 (常任代理人 資産管理サービス 信託銀行株式会社)	東京都千代田区有楽町1-13-1 (東京都中央区晴海1-8-12)	467	3.89
イサム塗料従業員持株会	大阪市福島区鷺洲2-15-24	185	1.54
長瀬産業株式会社	東京都中央区日本橋小舟町5-1	180	1.50
石原産業株式会社	大阪市西区江戸堀1-3-15	120	1.00
株式会社ダイセル	大阪市北区大深町3-1	108	0.90
日立化成株式会社	東京都千代田区丸の内1-9-2	90	0.75
THE BANK OF NEW YORK, NON- TREATY JASDEC ACCOUNT (常任代理人 株式会社三菱東 京UFJ銀行)	225 LIBERTY STREET, NEW YORK, NEW YORK 10286, USA (東京都千代田区丸の内2-7-1)	80	0.66
計	-	6,834	56.95

(注) 1. イサム塗料栄勇会は取引先を対象とした持株会であります。
 2. 上記のほか、当社所有の自己株式が2,460千株あります。

(7)【議決権の状況】
 【発行済株式】

平成28年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 2,460,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,434,000	9,434	-
単元未満株式	普通株式 106,000	-	-
発行済株式総数	12,000,000	-	-
総株主の議決権	-	9,434	-

(注)「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式が628株含まれております。

【自己株式等】

平成28年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
イサム塗料株式会社	大阪市福島区鷺洲2丁目15番24号	2,460,000	-	2,460,000	20.50
計	-	2,460,000	-	2,460,000	20.50

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成28年7月1日から平成28年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、清稜監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,514,555	4,368,542
受取手形及び売掛金	2,514,587	2,572,523
有価証券	1,100,702	1,401,147
商品及び製品	1,040,030	967,916
仕掛品	135,467	125,596
原材料及び貯蔵品	177,265	164,737
繰延税金資産	90,008	89,510
その他	43,417	65,665
貸倒引当金	19,267	17,527
流動資産合計	8,596,764	9,738,109
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,700,508	2,706,788
減価償却累計額	1,491,610	1,527,371
建物及び構築物(純額)	1,208,898	1,179,417
機械及び装置	404,186	405,892
減価償却累計額	350,252	357,875
機械及び装置(純額)	53,934	48,017
工具、器具及び備品	401,750	404,775
減価償却累計額	364,110	370,212
工具、器具及び備品(純額)	37,640	34,563
土地	1,344,467	1,344,467
リース資産	41,717	41,717
減価償却累計額	13,924	17,023
リース資産(純額)	27,793	24,694
有形固定資産合計	2,672,732	2,631,158
無形固定資産		
ソフトウェア	12,401	4,039
施設利用権	3,351	2,963
電話加入権	6,555	6,555
リース資産	10,422	8,822
無形固定資産合計	32,729	22,379
投資その他の資産		
投資有価証券	3,713,486	3,565,341
長期預金	1,080,000	-
保険積立金	693,640	643,409
繰延税金資産	80,304	90,476
その他	57,088	48,540
貸倒引当金	12,015	11,987
投資その他の資産合計	5,612,503	4,335,779
固定資産合計	8,317,964	6,989,316
資産合計	16,914,728	16,727,425

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	689,008	422,694
電子記録債務	1,063,856	1,208,236
1年内返済予定の長期借入金	52,000	-
リース債務	10,116	10,116
未払金	122,727	107,488
未払法人税等	157,639	155,002
未払消費税等	24,898	50,821
前受金	4,395	4,136
預り金	56,695	53,957
賞与引当金	118,196	116,604
その他	46,591	44,259
流動負債合計	2,346,121	2,173,313
固定負債		
長期借入金	241,000	-
長期預り保証金	257,872	260,941
リース債務	31,280	26,222
繰延税金負債	14,304	20,977
役員退職慰労引当金	150,113	147,499
修繕引当金	60,000	63,750
退職給付に係る負債	483,838	448,352
負ののれん	28,930	23,144
固定負債合計	1,267,337	990,885
負債合計	3,613,458	3,164,198
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,290,400	1,290,400
資本剰余金	1,209,925	1,209,925
利益剰余金	11,214,155	11,502,201
自己株式	976,952	977,182
株主資本合計	12,737,528	13,025,344
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	232,273	200,488
繰延ヘッジ損益	461	-
その他の包括利益累計額合計	231,812	200,488
非支配株主持分	331,930	337,395
純資産合計	13,301,270	13,563,227
負債純資産合計	16,914,728	16,727,425

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	4,064,496	4,006,184
売上原価	2,793,866	2,690,543
売上総利益	1,270,630	1,315,641
販売費及び一般管理費	966,062	894,818
営業利益	304,568	420,823
営業外収益		
受取利息	2,624	963
有価証券利息	8,651	5,729
受取配当金	8,463	9,033
受取賃貸料	26,558	25,258
塗装情報サービス会費	12,935	13,671
生命保険満期差益	3,691	4,882
負ののれん償却額	5,786	5,786
貸倒引当金戻入額	1,450	2,400
その他	6,306	11,321
営業外収益合計	76,464	79,043
営業外費用		
支払利息	5,588	1,555
支払補償費	348	-
貸倒引当金繰入額	1,876	-
その他	2,020	4,337
営業外費用合計	9,832	5,892
経常利益	371,200	493,974
特別利益		
投資有価証券売却益	-	735
特別利益合計	-	735
税金等調整前四半期純利益	371,200	494,709
法人税、住民税及び事業税	121,027	142,102
法人税等調整額	7,127	9,429
法人税等合計	128,154	151,531
四半期純利益	243,046	343,178
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,823	7,432
親会社株主に帰属する四半期純利益	237,223	335,746

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	243,046	343,178
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	51,871	31,785
繰延ヘッジ損益	2,109	953
その他の包括利益合計	49,762	30,832
四半期包括利益	193,284	312,346
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	186,384	304,422
非支配株主に係る四半期包括利益	6,900	7,924

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	371,200	494,709
減価償却費	87,938	66,389
負ののれん償却額	5,786	5,786
賞与引当金の増減額(は減少)	209	1,592
修繕引当金の増減額(は減少)	3,750	3,750
貸倒引当金の増減額(は減少)	364	1,767
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	886	2,614
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	25,823	35,487
受取利息及び受取配当金	19,737	15,726
支払利息	5,588	1,555
売上債権の増減額(は増加)	24,896	57,936
たな卸資産の増減額(は増加)	5,567	94,512
仕入債務の増減額(は減少)	68,025	121,934
未払金の増減額(は減少)	17,203	20,622
未払消費税等の増減額(は減少)	59,269	25,923
その他	31,090	19,946
小計	335,227	403,428
利息及び配当金の受取額	29,469	24,225
利息の支払額	5,713	2,339
法人税等の支払額	149,608	149,399
営業活動によるキャッシュ・フロー	209,375	275,915
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	1,580,000	200,000
定期預金の払戻による収入	1,270,000	250,000
有価証券の取得による支出	500,000	-
有価証券の売却及び償還による収入	400,000	-
有形固定資産の取得による支出	16,885	8,064
無形固定資産の取得による支出	-	1,140
投資有価証券の取得による支出	700,597	200,615
投資有価証券の売却及び償還による収入	300,000	910
保険積立金の積立による支出	30,309	27,278
保険積立金の払戻による収入	81,309	81,233
その他	667	1,359
投資活動によるキャッシュ・フロー	775,815	103,595
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	26,000	293,000
自己株式の純増減額(は増加)	726	230
リース債務の返済による支出	21,664	5,058
配当金の支払額	47,608	47,586
非支配株主への配当金の支払額	2,459	2,459
財務活動によるキャッシュ・フロー	98,457	348,333
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	664,897	176,013
現金及び現金同等物の期首残高	2,389,081	2,054,555
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,724,184	1,878,542

【注記事項】

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
従業員給料	256,598千円	261,378千円
貸倒引当金繰入額	-千円	633千円
賞与及び賞与引当金繰入額	73,331千円	69,051千円
役員退職慰労引当金繰入額	10,732千円	11,109千円
退職給付費用	11,874千円	12,599千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
現金及び預金勘定	2,964,184千円	4,368,542千円
預入期間が3か月を超える定期預金	1,240,000千円	2,490,000千円
現金及び現金同等物	1,724,184千円	1,878,542千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年6月26日 定時株主総会	普通株式	47,710	5	平成27年3月31日	平成27年6月29日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年11月9日 取締役会	普通株式	47,704	5	平成27年9月30日	平成27年12月10日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年6月29日 定時株主総会	普通株式	47,699	5	平成28年3月31日	平成28年6月30日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年11月10日 取締役会	普通株式	47,697	5	平成28年9月30日	平成28年12月9日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)
 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	塗料事業				
売上高					
外部顧客への売上高	4,013,531	50,965	4,064,496	-	4,064,496
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	4,013,531	50,965	4,064,496	-	4,064,496
セグメント利益	283,787	20,781	304,568	-	304,568

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)
 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	塗料事業				
売上高					
外部顧客への売上高	3,954,879	51,305	4,006,184	-	4,006,184
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	3,954,879	51,305	4,006,184	-	4,006,184
セグメント利益	398,646	22,177	420,823	-	420,823

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	24.86円	35.19円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	237,223	335,746
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益金額(千円)	237,223	335,746
普通株式の期中平均株式数(株)	9,541,392	9,539,604

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

第71期（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）中間配当については、平成28年11月10日開催の取締役会において、平成28年9月30日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額.....47,697千円
1株当たりの金額.....5円
支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成28年12月9日

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成28年11月4日

イサム塗料株式会社

取締役会 御中

清稜監査法人

代表社員 公認会計士 田中 伸郎 印
業務執行社員

代表社員 公認会計士 加賀谷 剛 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているイサム塗料株式会社の平成28年4月1日から平成29年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成28年7月1日から平成28年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、イサム塗料株式会社及び連結子会社の平成28年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は四半期報告書提出会社が別途保管しています。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。